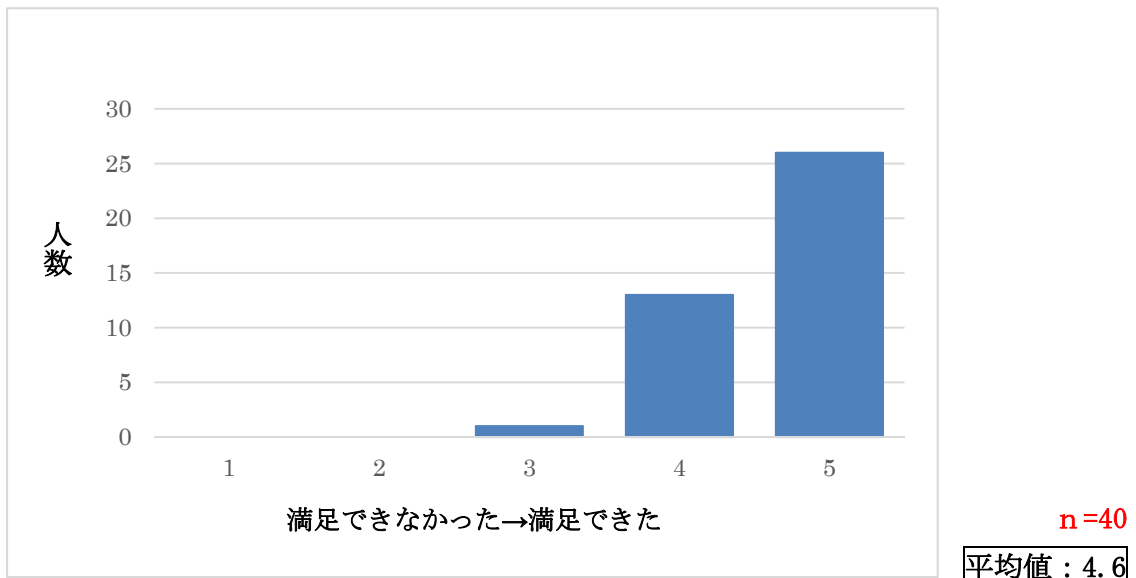


2019年度 スキルアップ研修会(東京) アンケート集計

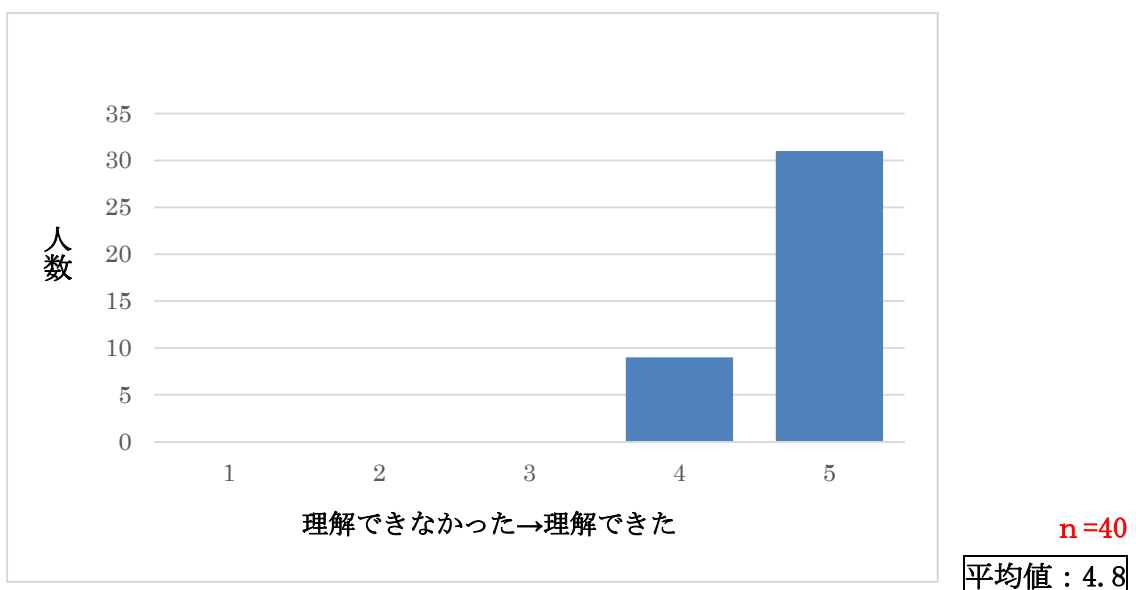
- ◆開催日 : 2019年11月22日(金)
- ◆参加者数 : 51名(参加者41名、事務局10名含む)
- ◆アンケート回収数 : 41枚

1. 今回の研修会は満足できましたか？



2. 今回の研修会のプログラムについてお聞かせください。

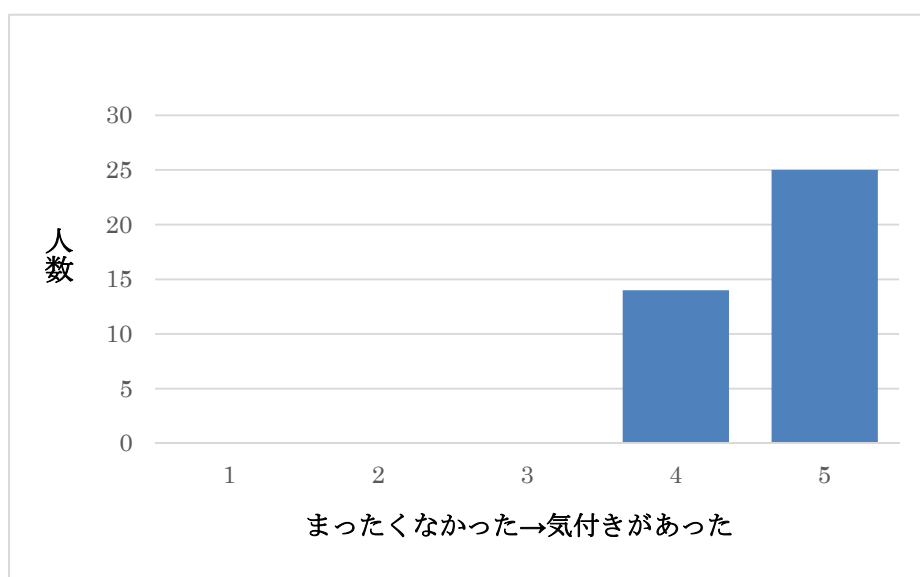
(1) 講演「酪農教育ファームにおける安全、衛生対策の確認」の内容は、理解できましたか？



★安全、衛生対策で理解できたことや、さらに知りたいことがあればお書きください。

- 牧場とお客様の両方を守る事。
- 観光牧場で出来る衛生対策を知りたい。
- 具体的で分かりやすい衛生対策。
- 手洗いや、衛生管理区域等、基本中の基本だが、出来ていない部分もあったので、立ち返るきっかけになった。
- クイズ形式だったので、今まで聞き流していたのだと改めて思った。理解が深まりました。
- NOSAIの先生が、何か所かの牧場を回る時に気を付けていること。
- 見学者が体験多いので日々、安全衛生対策に気を付けていきます。
- 牧場内にいる豚や馬など牛以外の家畜の特別な衛生対策があれば知りたい。
- 集団下痢症の発生時の教育ファームの対応について。
- 防疫について再確認できた。改めて対策を考えていきたいと思った。
- 牧場と動物園等他の動物のいつ施設の防疫の違い。
- 自分で情報をしっかりとらないといけない事が大切だと改めて考えさせられた。
- 消毒などのやり方を正しく学べた！
- 手作り体験をしているので、手洗いは特に注意して行っていきます。
- 実際、口蹄疫で体験した牧場として今後更に防疫意識を高めていきたいです。

(2)ワークショップワークショップ「積極的傾聴」でプログラム展開が格段に変わる」では、ご自身の酪農教育ファーム活動に関する新しい気づきがありましたか？



n=39

平均値：4.6

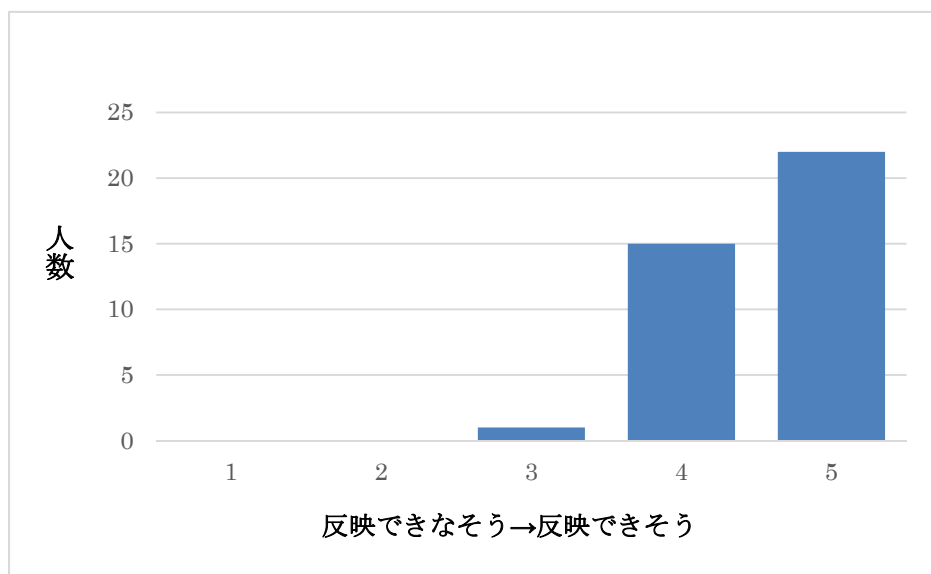
★具体的にどのような気づきがありましたか？

- ファンタジー。
- すばらしい内容でした。
- コミュニケーションにいろいろな方法がある事が良くわかりました。
- 低年齢の来場者の質問に対して真実をお話と交えて話す事が理解に繋がると分かりました。
- 会話に深みと広がり加わる事。
- 自ら考え行動させるような受け入れのヒントになりました。ありがとうございました。
- きいたことを反映してどう伝えるか。一方通行にならない会話術を身につけたいと思います。
- 私が普段子どもたちに話しているような空想的なお話は手法として使ってもいいんだ、とお墨付きをもらったようで嬉しかった。
- 「言葉」以外で伝えられるもの。「言葉」を上手に使うって伝えること。
- 感動・感情の生産拡大。
- 子どもはファンタジーの世界にいるということを理解した上で、今後の話す内容の幅が広がるなと思いました。
- 他の方々から、自身の牧場での体験談もきけたので今後の対応に応用したい。
- 相手によって話し方を変えることを、今まで以上に気を付けること。
- 普段の生活でもとても役に立ちそうな内容で良かったです。
- 息子の勝が取り組む姿を見ております。地域の小学校と連絡を取り合って、充実した酪農教育ファームとして行きたいと思っております。
- 話しのふくらませかたを知りました。
- ただ話をきくだけでなく、相づちの中にも色々なものがあり、相手に合わせて使っていくことの大切さを実感しました。このことを生徒たちに伝えていきたいと思います。
- 今まで子どもたちの質問にしっかりと理解できるよう答えられていない部分が多い事に気が付いた。そのためには聴く姿勢が重要であると良くわかった。
- きく力。
- 自律的、自主的に学んでもらう為のアクション作りがファシリテーターの役割という再認識。
- ファシリテーターとして、相手の意見を「よくきく」「よくみる」必要性を再確認出来た。
- 子どもの質問に足して答える時、説明する時、ファンタジーを入れた方が興味を得られるし、わかってもらえる。
- 5歳はファンタジーの中で生きていること。それを踏まえた上で、親にも理解してもらおうこの大事さが分かった。ヒントになったと思う。
- 5歳の女の子にもっと関心を持ってもらえるように伝える。
- 伝え方において「きく」という重要性を確認できた。
- YES、NOの構図とても分かりやすかったです。「きく」という事の大切さがとてもよくわかった。

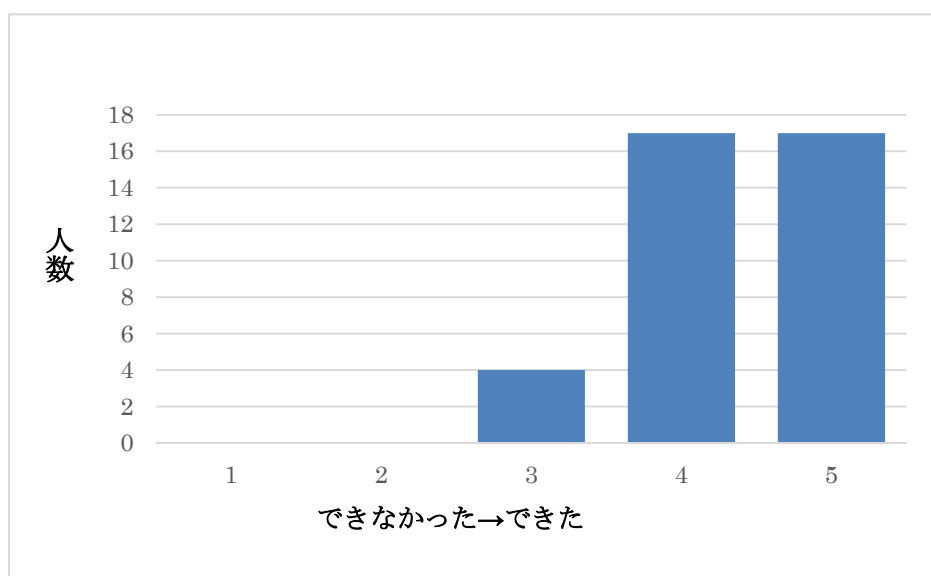
- 受容による会話の広げ方（継ぎ方）は面白いと感じた。
- 逆質問して「まず一緒に考える」から変更して実施してみようと感じた。
- 言葉をきく、相手の気持ちを考えるという事を再認識しました。

3. 今回の研修会を受けられて、次のことについてお聞かせください。

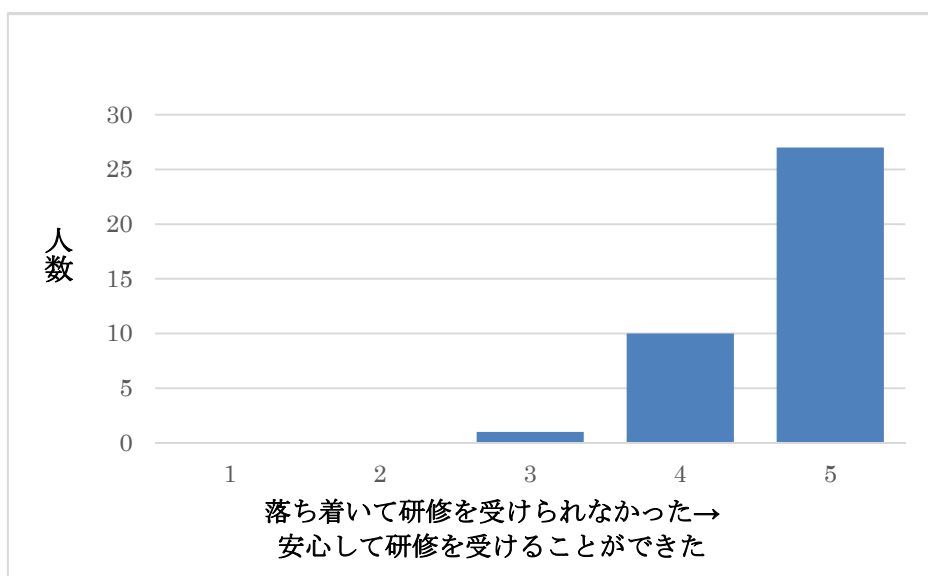
(1) 今日気付いたことや学んだことを、自らの酪農教育ファーム活動に反映できそうですか？



(2) 他の受講者とのコミュニケーションはできましたか？



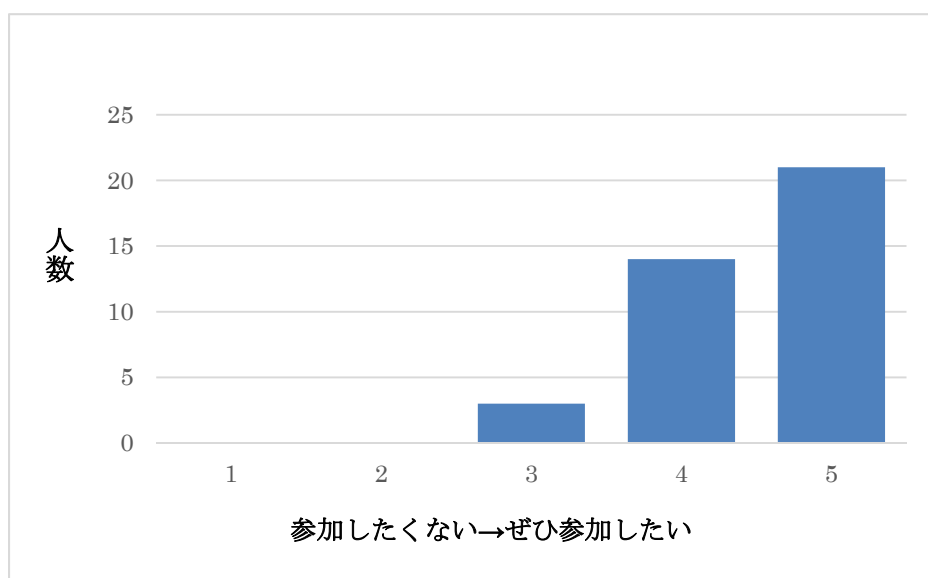
(3) 研修会の雰囲気はどうでしたか？



n=38

平均値：4.7

(4) 今後も、このような研修会に参加したいと思いますか？



n=38

平均値：4.5

5. その他、ご意見やご要望等をお書きください。

- 救急箱をどの牧場でも用意しておりますが、消毒液、塗薬、飲み薬を入れない様にすれば用いないのではないかと思います（本研修のけがをした時の留意点より）。
- 職場で旧姓を使用しているので、結婚後の姓は違和感があると同時に、名刺の交換をためらってしまう。何かいい方法はないかなあと思います。
- すてきな研修会ありがとうございました。今後の気づきがたくさんありました。

- 上田先生のような研修は初めての体験で面白かった。
- 酪農組合の研修でも同じような事が出来ればと思います。
- 年齢的に限界に来ております。次回は考えさせていただきます。ありがとうございました。
- 会場の広さ、もっと大きければ。
- 伝えたくても言葉、思いが一方的になってしまう事が多いなと感じていたのも、今回学んだ事を活かし、ファシリテーターの立場をもう一度考えた取り組みを考えたいと思いました。ありがとうございました！
- 何年も仕事をしていると忘れてしまっていた心構えもあり、改めて明日からの仕事に活かしていきたい。
- 日にちなどの連絡がもう少し早く欲しかった。
- 報告資料メールをお願いします。ありがとうございました。
- とても良い刺激になりました。今日学んだ事を、後輩たちに伝えていきます。
- ありがとうございました！